

# 令和元年度自己点検ツールフォローアップ事業（個別訪問支援）実施要綱

## 1 趣 旨

各福祉・介護職場の状態を客観的にとらえる自己点検ツール(アンケート)は、実施後に結果を分析・考察することで職場の問題点や課題を明らかにし、課題を改善していく取り組みが大切です。

アンケート結果から見えてきた、職場内のコミュニケーション（人間関係）や職員のモチベーション向上などの課題に対し、取り組む意識の醸成や効果的な取り組みを実施していくことが法人・事業所には求められています。

本事業では、「自己点検ツール」に取り組んだ法人・事業所が抱える課題に対し、その解決策に向けた個別訪問支援を行い、職員が働きやすい環境を整え、人材の確保や育成、離職防止につなげていきます。

2 主 催 広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会（職場改善・資質向上部会）

3 実施期間 令和元年11月～2月

※開催日時は各法人・事業所のご都合に合わせて

4 内 容 各施設・事業所で実施する会議・研修会等に講師を派遣し、自己点検ツールの結果をもとに課題の洗い出し（STEP1）、から課題に対しての具体的な取り組み（STEP2）を支援します。

### 昨年度の取り組み例

STEP1：（1回目）講師の指導のもと、グループワークを行い、自己点検ツールの結果において良くなかった項目とその原因と思われる関連事実を明確化し、解決に向けての方策を検討。自分の持ち味を「見える化」するツール『デライト式 持ち味カード』を使用して、職場内の強みと弱みを知り、職場内のコミュニケーション不足が業務に影響していることを課題として参加した職員全員が認識することができた。

STEP2：（2回目）STEP1での課題改善に向けて、『デライト式 持ち味カード』を使用して、具体的な取り組みと取り組みを継続させるためのポイントを話し合った結果、気軽に相談できる環境が整っていないことがコミュニケーション不足の原因であるとわかった。改善策として、定期的にランチミーティングを開催し、継続した取り組みとするため、ミーティングで出された課題をリーダーがまとめ、部門長とも相談して問題解決を行う仕組みを整えることになった。

※取り組み例は2回での実施のものとなりますが、1回での実施も可能です。その場合は良くなかった項目のみの検討となります。

※取り組みに向けての事前打合せは適宜行います。

※取り組み実施後も、ヒアリング等によりフォローを行います。

※取り組みで使用する『デライト式 持ち味カード』は本会で準備します。

5 講 師 フクシマ社会保険労務士法人 コンサルティング部 部長 山根 寛之

6 費 用 無料

7 その他 原則として、今年度に自己点検ツールを実施した事業所を対象とします。

8 申込先・問い合わせ先

(1) 別紙の申込書により、本会へ 11月29日(金) までに申し込んでください。

(2) 参加申込及び問合せ先

(社福) 広島県社会福祉協議会 福祉人材課 (担当: 阿村)

〒732-0816 広島市南区比治山本町 12-2

TEL 082-254-3415 FAX 082-256-2228 E-Mail [jinzai@hiroshima-fukushi.net](mailto:jinzai@hiroshima-fukushi.net)